

我が社の地球温暖化防止実行計画

事業所名 みづほ工業株式会社

策定年月日 平成15年 5 月

1. 事業内容（特徴）

総合建設工事業

2. 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な要因

オフィス部門

<電気> 照明・O A 機器・コピー機・空調機器

<灯油> 暖房機器 <ガソリン> 営業車

作業現場

<電気> 現場事務所及び工事現場の照明・空調機器・O A 機器等

3. 温室効果ガスの削減目標（目標年度：平成14年度、基準年度16年度） 二酸化炭素排出量を 91 t から 89 t にする。（2 %削減）

（内訳）

電気使用量 2 %削減

灯油使用量 2 %削減

ガソリン、軽油（自動車燃料）使用量 2 %削減

4. 温室効果ガス削減に向けての主な対策

（1）電気使用量の削減

- ・ 空調の設定温度の適性化（冷房27℃、暖房22℃）とする。
- ・ 窓の適正な開閉による無駄な冷房をやめる。
- ・ 休憩時の照明消灯
- ・ 電気のスイッチは個別にしている。（“節電”の掲示）

（2）車の燃料使用量の削減

- ・ 不要なアイドリングを行わない。
- ・ 急発進、急加速をしないで経済的な運転に努める。

(3) 各現場において

- ・ 型枠を合板の代用品(ラス型、プラスチック型、鋼板)を使用する。
- ・ 外断熱工法を取り入れ、熱効率を高める。
- ・ 排出ガス削減型の建設機械の選定
- ・ 重機の効率的な使用

5. その他の環境対策

(1) グリーン購入の推進

環境に優しい製品の使用

- ・ 物品を購入する際は、石川県リサイクル認定製品「環境に優しいリサイクル製品購入推薦リスト」、エコマーク、グリーンマークの表示製品から優先的に選定する。

再生紙の使用

- ・ 紙製品を購入、使用するとき、又は、印刷物を発注するとき、古紙配合率が高く、色度の低い再生紙を選択する。

各現場において

- ・ コンクリートの砕けた再生砕石を利用し、インターロッキング等の再生品の利用をする。

(2) 廃棄物の排出抑制とリサイクル率の向上

コピーの両面使用の徹底

封筒の再利用の徹底

作業現場での廃棄物の分別徹底

(3) ISO14001の推進

問い合わせ

みずほ工業株式会社

責任者及び担当者連絡先

責任者	取締役業務部長	折尾正人
担当者	磯見 聡・沢 保彦・太田 由喜子	
連絡先	TEL	076-242-1246
	FAX	076-242-3800
	E mail	mizuho-soumu@mbi.nifty.com